

内視鏡検査(大腸カメラ)の説明と注意事項

<目的>

大腸カメラを肛門から挿入し、大腸と小腸の一部を直接観察します。
腸炎・潰瘍・ポリープ・癌などの病気の診断を行うことが目的です。

<食事について>

- ・検査前日・・・[朝]消化の良いもの（別紙参照）
[昼]消化の良いもの（別紙参照）
[夕]18時までに消化の良いものを軽く摂ってください。
18時以降は絶食です。
水・麦茶はしっかり飲みましょう。
- ・検査当日・・・絶食です。
水・麦茶はしっかり飲みましょう。
服用されるように説明があった薬は起床時に内服するよう
にしてください。

<薬について>

- ・血液をサラサラにするお薬（ ）
休薬する（ 月 日から） 休薬しない
- ・痔の軟膏は当日の朝のみ中止してください。

<下剤の服用>

- ・検査前日・・・19時にピコスルファートナトリウム内用液1本を、コップ一杯分の水または麦茶の中に入れて服用してください。

検査予定日：
来院時間：
氏名：

<稀に起こりうる合併症>

- ・鎮痙剤・鎮痛剤・鎮静剤によるアレルギー反応・血圧低下などが起こる場合があります。
 - ・内視鏡の接触による疼痛、粘膜損傷、出血が起こる場合があります。
 - ・生検の検査(大腸や小腸の粘膜の組織の一部を採取します)を行った場合、出血や潰瘍の形成がおこる場合があります。
- ※合併症によっては入院・手術・その他処置や治療が必要になることがあります。

<その他>

- ・鎮静剤を希望される方は、車や自転車での来院はできるだけ避けるようにしてください。
もし、帰宅途中で事故などが起きた場合に保険の対象にならない場合があります。
- ・検査中に、その場で治療可能なポリープが見つかった場合、治療を行なう場合があります。
- ・すべての大腸を観察することを目的としますが、種々の要因により検査中止の判断をすることがあります。
- ・病院に来院して下剤を服用しますので、水または麦茶を1ℓほど持参して下さい。
- ・ご不明な点は当院ホームページをご参照いただくか、電話でお問い合わせください

医療法人 高野胃腸科

TEL : 092-622-1461

<http://www.takano-ge.jp/>